3 障害福祉サービス等の量の見込み

国の基本指針においてサービスの種類ごとに定められている見込み方(「現に利用している者の数」や「障害者等のニーズ」等の要素を勘案して定めるなど)を踏まえるとともに、障害別に過去の実績(伸び等)を踏まえて利用者数を見込み、これに一人当たりの平均利用量の実績を乗じて、今後のサービス量を見込みます(措置による利用は除く。)。

そのほか、サービスによっては、国の制度改正や特別支援学校卒業生数の増加傾向等も勘案して見込みます。

「※」については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、新たな計画期間のサービス量の見込みの算出にあたり、特に影響を受けた月のサービス量等を補正しています。

(1) 訪問系サービス

① 現状と今後の方向性

居宅介護等の「訪問系サービス」については、事業者に対する情報提供等を行い、事業者の 参入を促進し、サービス量の確保に努めており、居宅介護と重度訪問介護はサービス利用量が 伸びています。行動援護及び重度障害者等包括支援については事業者の参入が進んでいないこ ともあり、現状ではほとんど利用実績がなく、代わりに、移動支援や重度訪問介護等が利用さ れている現状にあります。

引き続き、事業者に対して適切な指導や情報提供等を行い、サービス量の確保と質の向上に 努めるとともに、利用が進んでいない行動援護等については、参入による利点(インセンティ ブ等)についても合わせて情報提供することで、事業者の参入を促進します。

また、相談支援や支給決定手続きの過程における十分なケアマネジメント実施体制を確立し、ニーズに対応できるサービスの適切な提供ときめ細かい支援に努めます。

② 第5期計画期間の実績及び新たな計画期間の見込み

ア 居宅介護 ※

「 障害者(障害支援区分1以上)等の居宅を訪問し、入浴、排せつ、食事等の介護や調理、洗濯、掃除等の家事 援助等を実施

区分	【単位】	第5	第5期計画期間の実績			ま計画期間の見	見込み
کی	【半世】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【時間/月】	43,526	44,292	46,098	47,390	48,843	50,333
利用者数	【人/月】	1,946	1,987	2,050	2,122	2,192	2,264

※令和2年度分は見込み

イ 重度訪問介護 ※

(重度の肢体不自由者、知的・精神障害者(障害支援区分4以上)の居宅を訪問し、入浴、排せつ、食事等の介護や調理、洗濯、掃除等の家事援助等を実施するほか、外出時における移動介護を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	ま計画期間の見	見込み
کل		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【時間/月】	67,298	66,075	75,377	77,409	81,944	86,905
利用者数	【人/月】	156	167	180	186	197	209

ウ 同行援護 ※

(視覚障害のため、移動が著しく困難な障害者等に外出時に同行し、代筆・代読などにより必要な情報を提供するとともに、移動の援護等を実施

区分	【単位】	第5	期計画期間の	実績	新たな	ま計画期間の見	記み
۵		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【時間/月】	2,337	1,978	2,265	3,060	3,348	3,636
利用者数	【人/月】	100	92	99	128	140	152

※令和2年度分は見込み

工 行動援護 ※

行動が著しく困難な知的・精神障害者(障害支援区分3以上)等の行動援護、外出時の移動介護等を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
<u>کی</u>	【半世】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【時間/月】	740	938	938	1,136	1,300	1,464
利用者数	【人/月】	31	31	37	49	56	63

※令和2年度分は見込み

才 重度障害者等包括支援

「常時介護を要する重度障害者(障害支援区分6)等に、居宅介護その他のサービスを包括的に提供

区分	【単位】	第5	第5期計画期間の実績			ま計画期間の見	見込み
<u>کی</u>	【半世】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【時間/月】	0	0	0	0	0	0
利用者数	【人/月】	0	0	0	0	0	0

(2) 日中活動系サービス

① 現状と今後の方向性

生活介護や就労移行支援等の「日中活動系サービス」については、事業所開設に当たっての 助成や市が保有する未利用地の貸付等を行い、サービスの提供に必要な基盤整備を促進するな ど、サービス量の確保に努めてきました。

日中における介護、一般就労等に向けた訓練や福祉的就労の場を提供する日中活動系サービスは、障害者の自立を支援するために欠かせないサービスであるため、引き続き、事業所開設に当たっての助成や市が保有する未利用地の貸付等を行い、サービスの提供に必要な基盤整備の促進に努めます。また、サービスの質の向上に向け、指導等を実施します。

② 第5期計画期間の実績及び新たな計画期間の見込み

ア 生活介護 ※

□ 障害者(障害支援区分3以上:50歳以上の場合は2以上)に、入浴、排せつ、食事等の介護を実施するとともに、創作的活動等の機会を提供

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
کی	1年四1	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【人·日/月】	38,502	39,451	41,395	40,914	42,098	43,342
利用者数	【人/月】	1,951	1,967	2,028	2,110	2,171	2,235

※令和2年度分は見込み

イ 自立訓練(機能訓練) ※

障害者への身体機能の回復等に必要なリハビリテーション等を実施(期間は18か月を標準とする)

区分	【単位】	第5	期計画期間の	実績	新たな	な計画期間の見	礼込み
۵	【半世】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【人·日/月】	446	398	418	432	432	432
利用者数	【人/月】	34	32	34	35	35	35

※令和2年度分は見込み

ウ 自立訓練(生活訓練) ※

「障害者が自立した日常生活を営むために必要な訓練等を実施(期間は24か月(長期間入院・入所していた場合は36か月)を標準とする)

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	ま計画期間の見	見込み
۵	【半世】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【人·日/月】	2,959	3,102	3,684	3,882	4,260	4,638
利用者数	【人/月】	229	271	297	312	343	374

※令和2年度分は見込み

工 就労移行支援 ※

一般企業等への就労が可能と見込まれる障害者に、訓練、求職活動に関する支援、就職後の職場定着のための相談支援等を実施(期間は24か月を標準とする)

区分	【単位】	第5	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
サービス量	【人·日/月】	4,215	4,797	4,918	4,120	4,135	4,150	
利用者数	【人/月】	282	308	320	275	276	277	

才 就労継続支援(A型:雇用契約あり)

一般企業等への就労が困難な障害者(雇用契約に基づく就労が可能な障害者)に、生産活動の機会等を提供す るとともに、訓練等を実施

区分	【単位】	第5	第5期計画期間の実績			な計画期間の見	見込み
<u> </u>	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【人·日/月】	13,008	12,898	13,424	13,142	13,333	13,524
利用者数	【人/月】	656	652	672	674	684	694

※令和2年度分は見込み

カ 就労継続支援(B型:雇用契約なし) ×

― 一般企業等への就労が困難な障害者に、生産活動の機会等を提供するとともに、訓練等を実施

(,
区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	ま計画期間の見	見込み
<u>کی</u>	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【人·日/月】	34,219	37,184	39,771	43,645	47,049	50,565
利用者数	【人/月】	2,100	2,213	2,396	2,632	2,841	3,056

※令和2年度分は見込み

キ 就労定着支援 **※**

就労移行支援等の利用を経て一般就労へ移行した障害者で、就労に伴う環境変化により生活面の課題が生じている者を対象に、相談等を通じて生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	ま計画期間の見	見込み
E71	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	【人/月】	99	112	120	206	233	260

※令和2年度分は見込み

ク 療養介護

病院等において、医療と常時介護を要する障害者(障害支援区分5以上又は6)への医療的ケアや介護等を実

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	ま計画期間の見	見込み
<u>کی</u>	【半世】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量(利用者数)	【人/月】	246	250	252	257	260	263

※例話2年度分は見込み

ケ 短期入所

(ア) 福祉型

()地							J	
区分	【単位】	第5	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
サービス量	【人·日/月】	4,695	4,604	4,847	4,845	5,022	5,214	
利用者数	【人/月】	628	597	618	687	712	739	

※令和2年度分は見込み

(イ) 医療型 ×

医療的ケアが必要な重度心身障害者等を対象に、介護者が病気等の場合において、短期間の入所による介護や 医療的ケア等を実施

							J	
区分	【単位】	第5	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
<u> </u>	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
サービス量	【人·日/月】	355	338	396	426	426	426	
利用者数	【人/月】	70	55	66	71	71	71	

(3) 居住系サービス

① 現状と今後の方向性

共同生活援助(グループホーム)については、開設に当たっての助成や市が保有する未利用 地の貸付等を行い、サービスの提供に必要な基盤整備を促進するなど、サービス量の確保に努 めてきており、概ね見込みどおりに推移しています。

共同生活援助(グループホーム)は地域生活のための重要な基盤であり、施設や病院から地域への移行後の生活の場となることから、引き続き、開設に当たっての助成や市が保有する未利用地の貸付等をはじめ、開設・運営に対する支援を実施し、より一層の整備促進を図ります

また、施設入所支援については、利用者の状況等を踏まえ、地域への移行を進めつつ、真に 必要なサービスの適切な実施を図ります。

② 第5期計画期間の実績及び新たな計画期間の見込み

ア 自立生活援助 ※

´ 障害者支援施設やグループホーム等を利用していた障害者で単身生活をしようとする者などを対象に、定期的 に居宅を訪問するなどして、家事、体調などについて確認を行い、必要な助言や医療機関等との連絡調整を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	記み
E.J.	区方		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	【人/月】	18	18	18	20	20	20

※令和2年度分は見込み

イ 共同生活援助(グループホーム) ※

障害者(65歳以上の身体障害者は、65歳となる前に障害福祉サービスを利用していた者に限る。)が共同生活を行う住居において、日常生活上の援助等を実施

▽ 4	【単位】	第5	期計画期間の実績		新たな	ま計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量(利用者数)	【人/月】	502	523	553	590	622	654

※令和2年度分は見込み

ウ 施設入所支援 ※

施設に入所する障害者(生活介護のサービスを利用する者のうち、障害支援区分4以上(50歳以上の場合3以上)の者等)に対し、主として夜間の入浴、排せつ、食事の介護等を実施

区分	【単位】	第5	朝計画期間の実績		新たな計画期間の見込み		
	【半世】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量(利用者数)	【人/月】	950	948	944	937	933	929

※令和2年度分は見込み

エ 地域生活支援拠点等の運用状況の検証及び検討 新

障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくりの5つの柱を主な機能とした居住支援のための場所や体制の運用状況の検証及び検討を実施

区分	【単位】	第5	期計画期間の	実績	新たな	ま計画期間の見	記み
67		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数	【回/年】				1	1	1

(4) 相談支援

① 現状と今後の方向性

「相談支援」のうち計画相談支援については、障害福祉サービス等の利用者がサービス等利用計画を作成できるよう、相談支援体制の強化に取り組んできました。引き続き、基幹相談支援センター等による相談支援事業者への支援の充実などにより、相談支援体制の強化に取り組むとともに、セルフプラン作成者が一定数いることも考慮しながら、利用促進に努めます。

また、地域移行支援及び地域定着支援については、実績が見込みを下回っていますが、地域移行支援の利用者が、引き続いて地域定着支援を利用することを考慮して、提供体制の強化に努めます。

② 第5期計画期間の実績及び新たな計画期間の見込み

ア 計画相談支援 ※

障害者の心身の状況や環境を勘案したサービス等利用計画の作成や、作成した計画の検証・見直しを実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	ま計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量(利用者数)	【人/月】	1,437	2,003	2,401	1,735	1,867	1,999

※令和2年度分は見込み

イ 地域移行支援

障害者支援施設等に入所している障害者や精神科病院に入院している障害者等に、住居の確保や地域生活に移行するための活動に関する相談等を実施

	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	ま計画期間の見	見込み
	1年四1	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量(利用者数)	【人/月】	0	0	2	2	2	2

※令和2年度分は見込み

ウ 地域定着支援

一人暮らしの障害者等に、常時の連絡体制を確保し、緊急時の相談等を実施

▽分	【単位】	第5	朝計画期間の実績		新たな	な計画期間の見	見込み
E71	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量(利用者数)	【人/月】	1	0	0	1	1	1

※令和2年度分は見込み

(5) 障害児支援

① 現状と今後の方向性

「障害児支援」のうち障害児通所支援は、平成24年4月の児童福祉法改正により開始されたサービスで、このうち児童発達支援と放課後等デイサービスについては、事業者参入が進み、利用者数及びサービス利用量ともに急速に増加している状況にあります。また、保育所等訪問支援については、こども療育センター等に専門スタッフを配置し、平成27年度からサービスを開始し、利用者数等が増加しています。

障害児入所支援については、平成24年4月の児童福祉法改正により、重度・重複障害等への対応を図るほか、自立(地域生活移行)のための支援を充実することを目的に、サービス体系が再編されたもので、利用者数はほぼ横ばいとなっています。

障害児相談支援については、対象となる障害児通所支援の利用者数の増加に伴い、利用者数が伸びています。

このように、サービス利用量が急速に増加している事業があることから、引き続きサービス の質の確保と提供体制の強化に取り組みます。

また、障害児が障害児支援を利用することにより、地域の保育、教育等の支援を受けることができるようにすることで、障害の有無にかかわらず、すべての児童が共に成長できるよう、地域社会への参加等を推進する必要があります。このため、障害児の子ども・子育て支援等の利用ニーズを満たせる定量的な目標を示したうえで、子ども・子育て支援等の利用を希望する障害児が希望に沿った利用ができるよう、保育所や認定こども園、放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)等における障害児の受け入れの体制の確保に努めます。

② 第5期計画期間の実績及び新たな計画期間の見込み

ア 障害児通所支援

(ア) 児童発達支援 ※

未就学の障害児に対して、日常生活における基本的動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、 その他必要な支援を実施

区分	【単位】	第5	第5期計画期間の実績			を計画期間の見	見込み
区 力	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【人・日/月】	7,104	7,240	8,046	10,062	11,142	12,339
利用者数	【人/月】	805	819	894	1,118	1,238	1,371

※令和2年度分は見込み

(イ) 医療型児童発達支援 ※

| 肢体不自由があり、機能訓練又は医療的管理下での支援が必要な障害児に対し、日常生活における基本的動 |作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等及び治療を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	ま計画期間の見	見込み
区 力	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【人・日/月】	528	542	583	550	550	550
利用者数	【人/月】	51	53	53	55	55	55

※令和2年度分は見込み

(ウ) 放課後等デイサービス ※

就学中の障害児に対して、授業の終了後又は学校休業日に、施設に通わせ、生活能力の向上のために必要な 訓練、社会との交流の促進、その他必要な支援を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【人・日/月】	38,097	38,287	42,471	46,596	51,600	57,144
利用者数	【人/月】	3,068	3,080	3,267	3,883	4,300	4,762

(工) 保育所等訪問支援 ※

保育所等を訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援、その他必要な支援を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【人・日/月】	69	70	78	94	108	122
利用者数	【人/月】	64	65	78	94	108	122

※令和2年度分は見込み

(才) 居宅訪問型児童発達支援

重度の障害等により外出が困難な障害児に対して、居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、 知識技能の付与及び生活能力の向上のために必要な支援を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
<u> </u>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量	【人・日/月】	0	0	0	16	16	16
利用者数	【人/月】	0	0	0	2	2	2

※令和2年度分は見込み

イ 障害児入所支援

(ア) 福祉型障害児入所施設 ※

障害児入所施設に入所等する障害児に対して、保護、日常生活の指導及び知識技能の付与を実施

区分	【単位】	第5	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
サービス量(利用者数)	【人/月】	19	21	21	21	21	21	

※令和2年度分は見込み

(イ) 医療型障害児入所施設 ※

障害児入所施設又は指定医療機関に入所等する障害児に対して、保護、日常生活の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び治療を実施

∇÷	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
<u>کی</u>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量(利用者数)	【人/月】	37	34	35	34	34	34

※令和2年度分は見込み

ウ 障害児相談支援 ※

障害児の心身の状況や環境を勘案した障害児支援利用計画の作成や、作成した計画の検証・見直しを実施

区分	【単位】	第5	期計画期間の	実績	新たな	な計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス量(利用者数)	【人/月】	294	327	380	558	642	726

※令和2年度分は見込み

エ 医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置人数

医療ケア児に対する総合的な支援体制を構築するため、関連分野の支援を調整する相談支援専門員等をコー ディネーターとして配置

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
配置人数	【人/年】	14	26	39	47	55	63

オ 子ども・子育て支援 新

(ア)保育所・認定こども園 新

(保育所)

乳幼児の保護者が働いていたり、病気にかかったりしているため、昼間乳幼児の保育をすることができないとき、保護者に代わって保育を実施

(認定こども園)

幼稚園と保育所の両方の機能を併せ持った施設で、教育と保育を一体的に実施

区分	【単位】	利用ニーズを踏まえた	新たな計画期間の見込み		
	【半四】	必要な見込量	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	【人/年】	314	289	301	314

※新規項目

(イ) 幼稚園(公立) 新

る歳以上の幼児を対象として、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的に実施

区分							
	【半世】		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
利用者数	【人/年】	66	66	66	66		

※新規項目

(ウ) 幼稚園(私立)

3歳以上の幼児を対象として、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的に実施

※令和元年度実績及び令和2年度見込みを踏まえ、今後の見込量を算出

区分	【単位】 利用ニーズを踏まえた	新たな計画期間の見込み			
<u>کی</u>	【半世】	必要な見込量	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	【人/年】	467	467	467	467

※新規項目

(新)

(工)放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)

(新)

│ 放課後や長期休業中に、就労等により保護者が家庭にいない小学生に対し、適切な遊びや生活の場を提供│ し、その健全な育成を図ることを目的に実施

区分	【単位】	利用ニーズを踏まえた	新たれ	な計画期間の見	見込み
	【半四】		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	【人/年】	1,741	1,526	1,630	1,741

(6) 発達障害者等に対する支援

① 現状と今後の方向性

発達障害者等に対する支援については、発達障害者支援センターにおいて、発達障害者等からの相談に応じ適切な助言等を行うとともに、関係機関との連携強化や各種研修の実施により、発達障害者等に対する地域における総合的な支援体制の整備を推進してきました。発達障害者支援センターによる相談支援の件数は、開設当初から一貫して増加傾向にありましたが、近年は横ばい傾向にあります。

発達障害者等がライフステージを通じて、きめ細かな支援を地域の身近な場所で受けられるよう、引き続き、発達障害者支援地域協議会の開催や事業所等支援、医療機関との連携及び困難ケースへの対応等により地域支援の機能強化に努めます。

② 第5期計画期間の実績及び新たな計画期間の見込み

ア 発達障害者支援地域協議会の開催

発達障害者の支援の体制の整備を図るため、発達障害者及びその家族、学識経験者その他の関係者並びに医療、保健、福祉、教育、労働等に関する業務を行う行政機関及び民間団体並びにこれに従事する者により構成

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数	【回/年】	2	1	2	2	2	2

※令和2年度分は見込み

イ 発達障害者支援センターによる相談支援

発達障害の早期発見、早期の発達支援に資するよう、発達障害者及びその家族その他の関係者に対し、専門的に相談に応じ、情報の提供、助言を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たれ	な計画期間の見	記み
区 力		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	【件/年】	124	151	138	138	138	138

※令和2年度分は見込み

ウ 発達障害者支援センター及び発達障害者地域支援マネジャーの関係機関への助言

事業所等が困難ケースを含めた支援を的確に実施できるように助言、指導等を実施

区分【単位】	【甾位】	第5	期計画期間の	実績	新たな	な計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
助言件数	【件/年】	15	9	12	12	12	12

※令和2年度分は見込み

工 発達障害者支援センター及び発達障害者地域支援マネジャーの外部機関や地域住民への 研修、啓発

│ 医療、保健、福祉、教育、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体並びにこれに従事する者に対し │発達障害についての情報の提供及び研修を実施

∇\	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
<u>کی</u>	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
研修、啓発件数	【件/年】	68	78	72	72	72	72

※令和2年度分は見込み

オ ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の受講者数

保護者等が子どもの発達障害の特性を理解し、必要な知識や方法を身につけ、適切な対応ができるよう、発達障害者等及びその家族等に対する支援プログラムを実施

▽ ₩ /	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
	【中心】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受講者数	【人/年】				160	160	160

※新規項目

カ ペアレントメンターの人数 第

「 発達障害の子どもを育てた保護者が、その育児経験を活かし、同じ親の立場から子育てで同じ悩みを抱える 保護者などに対して情報提供等を行うペアレントメンターを養成

▽ ⇔	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	ま計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人数	【人/年】				34	39	44

※新規項目

キ ピアサポート活動への参加人数 新

同じ悩みを持つ本人同士や発達障害児を持つ保護者同士等の集まる場の提供や、集まる場を提供する際の子 どもの一時預かり等の実施

▽ 4	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
6 7	L #IU]	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加者数	【人/年】				259	259	259

(7) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

① 現状と今後の方向性

精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加(就労)、地域の助け合い、教育が包括的に確保された「地域包括ケアシステム」の構築を目指す必要があります。

そのため、保健、医療及び福祉関係者による協議の場を開催し、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業所等との重層的な連携による支援体制を構築するとともに、地域生活のために必要なサービスの利用促進に努めてまいります。

② 新たな計画期間の見込み

国の指針に基づき、新たな計画から見込むものです。

ア 保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催回数

保健、医療及び福祉関係者による重層的な連携による支援体制を構築するために必要となる協議の開催

V4	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
<u></u> ⊠ <i>D</i>	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数	【回/年】				1	1	1
					※新規項目		•

イ 保健、医療及び福祉関係者による協議の場への関係者の参加者数

保健、医療及び福祉関係者による重層的な連携による支援体制を構築するために必要となる協議への参加

∇₩	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	ま計画期間の見	見込み
<u> </u>	1年四1	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加者数	【人/年】				11	11	11

ウ 保健、医療及び福祉関係者による協議の場における目標の設定及び評価の実施回数

保健、医療及び福祉関係者による重層的な連携による支援体制を構築するために必要となる協議の開催

区分	【単位】	第5	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
	【羊四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
実施回数	【回/年】				1	1	1	
·					※新規項目			

工精神障害者の地域移行支援新

障害者支援施設等に入所している障害者や、精神科病院に入院している精神障害者が地域生活に移行する際
 の相談や支援等の援助

区分【単位】	【甾位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
移行者数	【人/月】				1	1	1

オ精神障害者の地域定着支援新

精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して、本人が充実した生活を送ることができるよう、関係機関の連携の下で、医療、福祉等の支援を行うという観点から、統合失調症を始めとする入院患者の減少及び地域生活を継続するための支援

∇÷	区分【単位】	第5期計画期間の実績			新たれ	な計画期間の見	見込み
<u> </u>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	【人/月】				1	1	1

※新規項目

カ 精神障害者の共同生活援助

「精神障害者に対して、主に夜間において、共同生活を営む住居で相談、入浴、排せつまたは食事の介護、その他の日常生活上の援助

区分	区分【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
<u> </u>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	【人/月】				16	18	20

※新規項目

キ 精神障害者の自立生活援助

「 障害者支援施設やグループホーム等から一人暮らしへの移行を希望する精神障害者などについて、本人の意思を尊重した地域生活を支援

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
<u> </u>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	【人/月】				5	6	7

(8) 相談支援体制の充実・強化のための取組

① 現状と今後の方向性

本市においては、基幹相談支援センターを各区に設置し、地域における相談支援の中核的な 役割を担う存在として、障害当事者等からの相談のみならず、各区における相談支援事業者へ の指導・助言等を行っています。

障害者差別解消推進条例の施行など、地域共生社会の実現に向け、機運が高まっているところであり、今後相談のニーズの増加、その内容の多岐化が見込まれます。

引き続き、現在の相談支援体制を維持し、相談支援を実施していきます。

② 新たな計画期間の見込み

国の指針に基づき、新たな計画から見込むものです。

ア 障害の種別や各種のニーズに対応できる総合的・専門的な相談支援の実施

新

障害のある方やその家族の方の最初の相談を相談窓口として、地域の障害福祉に関する相談支援の中核的な役割を担う。障害の種別や障害者手帳の有無にかかわらず、相談者に必要な支援などの情報提供や助言を実施

∇\to \	【単位】	第5	期計画期間の	実績	新たれ	な計画期間の見	見込み
	L #IU]	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施の有無					有	有	有

イ 地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言件数 (新

障害のある方やその家族の方の最初の相談を相談窓口として、地域の障害福祉に関する相談支援の中核的な役割を担う。障害の種別や障害者手帳の有無にかかわらず、相談者に必要な支援などの情報提供や助言を実施

▽ 4	【単位】	第5	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
	L #1127	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
件数	【件/年】				972	972	972	
					※新規項目			

ウ 地域の相談支援事業者の人材育成の支援件数

(新)

「 障害のある方やその家族の方の最初の相談を相談窓口として、地域の障害福祉に関する相談支援の中核的な 役割を担う。障害の種別や障害者手帳の有無にかかわらず、相談者に必要な支援などの情報提供や助言を実施

∇4	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
© 1/2	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支援件数	【件/年】				83	83	83

※新規項目

新

エ 地域の相談支援機関との連携強化の取組の実施回数

障害のある方やその家族の方の最初の相談を相談窓口として、地域の障害福祉に関する相談支援の中核的な役割を担う。障害の種別や障害者手帳の有無にかかわらず、相談者に必要な支援などの情報提供や助言を実施

▽ ⇔	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	を計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数	【回/年】				81	81	81

(9) 障害福祉サービスの質を向上させるための取組

① 現状と今後の方向性

障害福祉サービス等が多様化し、多くの事業者が参入している中、利用者が真に必要とする 障害福祉サービス等の提供を行うことが重要であることから、本市職員の研修への参加や、関 係自治体等との情報共有を通じて、障害福祉サービス等の質の向上を図ります。

② 新たな計画期間の見込み

国の指針に基づき、新たな計画から見込むものです。

ア 障害福祉サービス等に係る各種研修の活用

新

都道府県が実施する障害福祉サービス等に係る研修等への市職員の参加

∇₩	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
<u></u>	L #IU]	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加人数	【人/年】				40	40	40

※新規項目

イ 障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果の共有 新

障害者自立支援審査支払等システム等による審査結果の分析及びその結果を活用した事業所や関係自治体等と共有する体制の整備

∇ 4	区分 【単位】		第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
区 力	L #1127	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
体制の有無					有	有	有	
実施回数	【回/年】				1	1	1	

※新規項目

ウ 指導監査結果の関係自治体との共有 新

都道府県等が実施する指定障害福祉サービス事業者及び指定障害児通所支援事業者等に対する指導監査の適してな実施とその結果を共有する体制の整備

区分	☑ 【単位】		第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
区 力	1年四1	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
体制の有無					有	有	有	
共有回数	【回/年】				1	1	1	

(10) 地域生活支援事業

① 現状と今後の方向性

「地域生活支援事業」については、事業者に対する情報提供等を行い、事業者の参入を 促進するなど、サービス量の確保に努めてきました。障害者自立支援法施行前から継続的 に実施している事業が多く、概ね見込みどおりに推移しています。 地域生活支援事業は、地域の特性や利用者の状況に応じて、障害者の地域生活を支援す

るために多岐にわたって実施する事業であり、引き続き、適切な量の確保に努めます。

② 第5期計画期間の実績及び新たな計画期間の見込み

ア 理解促進研修・啓発事業

地域社会の住民に対して、障害者等に対する理解を深めるための研修や啓発事業を実施

区分【単位】	【甾位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
実施の有無	_	有	有	有	有	有	有	

イ 自発的活動支援事業

障害者等、その家族、地域住民等による地域における自発的な取組を支援

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
△ 20		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施の有無	_	有	有	有	有	有	有

ウ相談支援事業

(ア) 障害者相談支援事業

福祉サービスの利用援助、社会資源を活用するための支援、権利擁護のために必要な援助等を総合的に 実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
△		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施箇所数	【か所】	16	16	16	16	16	16

※令和2年度分は見込み

(基幹相談支援センターの設置)

地域における相談支援の中核的な役割を担う機関である基幹相談支援センターにおいて、地域の相談支 【援体制を強化する取組等を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
△ 20		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
設置の有無	_	有	有	有	有	有	有

(イ) 市町村相談支援機能強化事業

相談支援事業の機能を強化するため、特に必要と認められる能力を有する専門的職員を配置

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	見込み	
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施の有無	_	有	有	有	有	有	有

(ウ) 住宅入居等支援事業

「賃貸契約による一般住宅への入居を希望しているが、保証人がいない等の理由により入居が困難な障害 者に対し、入居に必要な調整等に係る支援を行うとともに、家主等への相談・助言を通じて障害者の地域 と活を支援

区分【単位	【畄位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施の有無	_	無	無	有	有	有	有

工 成年後見制度利用支援事業

身寄りのない障害者のための市長申立や制度利用に係る助成を実施

区分	「出法】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
区刀	【単位】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実利用者数	【人/年】	35	50	50	50	50	50

※令和2年度分は見込み

才 成年後見制度法人後見支援事業

成年後見制度における後見等の業務を適正に行うことができる法人を確保できる体制等の整備

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たれ	ま計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施の有無	1	有	有	有	有	有	有

力 意思疎通支援事業

(ア) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

手話通訳者・要約筆記者の派遣等により、円滑な意思疎通の支援を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実利用件数	【件/月】	205	219	236	254	273	294

※令和2年度分は見込み

(イ) 手話通訳者設置事業

障害福祉課、区保健福祉課、身体障害者更生相談所に手話相談員として手話通訳者を設置

区分	7举位1	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み			
	【単位】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
手話相談員数	[人]	11	11	11	11	11	11	

キ日常生活用具給付等事業

重度障害者等に対し、日常生活の便宜を図るための用具の給付等

	区分	【単位】	第5	期計画期間の	実績	新たな	な計画期間の見	見込み
	<u>كى</u>	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	介護・訓練支援用具	【件/年】	102	100	95	95	95	95
	自立生活支援用具	【件/年】	188	242	217	217	217	217
利用	在宅療育等支援用具	【件/年】	213	215	198	198	198	198
件数	情報·意思疎通支援 用具	【件/年】	441	454	393	393	393	393
	排泄管理支援用具	【件/年】	21,836	25,030	27,602	30,174	32,746	35,318
	居宅生活動作補助用 具(住宅改修費)	【件/年】	25	25	27	27	27	27

※令和2年度分は見込み

ク 手話奉仕員養成研修事業

手話で日常会話を行うのに必要な手話表現技術等を習得した手話奉仕員を養成

区分【単位	「畄位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
養成研修修了者数	【人/年】	65	69	75	82	89	97

※令和2年度分は見込み

ケ 移動支援事業 ※

□ 障害者等が円滑に外出することができるよう、障害者等の移動を支援

区分	【単位】	第5	第5期計画期間の実績			な計画期間の見	見込み
△	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実利用者数	【人/月】	2,222	1,787	2,094	2,239	2,239	2,239
利用時間数	【時間/月】	43,111	34,275	41,880	42,541	42,541	42,541

※令和2年度分は見込み

コ 地域活動支援センター ※

創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等を行う地域活動支援センターの運営を支援

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
区刀		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施箇所数(市内)	【か所】	34	32	33	34	35	36
実利用者数(市内)	【人/月】	885	850	873	869	870	871
実施箇所数(市外)	【か所】	3	3	3	3	3	3
実利用者数(市外)	【人/月】	37	30	34	35	35	35

※令和2年度分は見込み (市外の

(市外の内訳:海田町(2か所)、廿日市市、坂町)

サ 発達障害者支援センター運営事業

発達障害者に対する総合的な支援を実施

区分	【単位】	第5	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み		
	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
実施箇所数	【か所】	1	1	1	1	1	1	
実利用者数	【人/年】	922	876	920	920	920	920	

※令和2年度分は見込み

シ 障害児等療育支援事業

在宅の障害児(者)の生活を支えるため、訪問による療育指導等を提供

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施箇所数	【か所】	5	5	5	5	5	5

※令和2年度分は見込み

ス 専門性の高い意思疎通支援を行う者の養成研修事業

(ア) 手話通訳者・要約筆記者養成研修事業

手話通訳に必要な手話語彙、手話表現技術及び基本技術を習得した手話通訳者並びに要約筆記に必要な 要約技術及び基本技術を習得した要約筆記者を養成

※当該事業の数値については、登録者数を記載していたが、令和2年度からは県と整合を取り、養成研修修了者数を記載 ※令和元年度までは養成研修修了者数及び登録者数を併記し、令和2年度以降は上記方法により表記

区分【単位】	第5		期計画期間の実績		新たな計画期間の見込み		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
養成研修修了者数 (登録者数)	【人/年】	31 (12)	45 (17)	37	37	37	37

※令和2年度分は見込み

(イ) 盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業

盲ろう者の自立と社会参加を図るため、盲ろう者向け通訳・介助員を養成

区分【单位	【畄位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
養成研修修了者数	【人/年】	8	0	8	8	8	8

※令和2年度分は見込み

(ウ) 失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業

失語症者の自立と社会参加を図るため、失語症者向け意思疎通支援者を養成

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	ま計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
養成研修修了者数	【人/年】				15	15	15

※新規項目

セ 専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣事業

(ア) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

手話通訳者又は要約筆記者の市域外への広域的な派遣を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み			
	【书瓜】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
実利用件数	【件/月】	1	1	3	3	3	3	

(イ) 盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業

コミュニケーション及び移動等の支援を行う盲ろう者向け通訳・介助員を派遣

、 ※当該事業の数値については、【件/月】で記載していたが、令和2年度からは県と整合を取り、【件/年】で記載 ※令和元年度までは【件/年】及び【件/月】を併記し、令和2年度以降は上記方法により表記

区分【単位】	区分 【単位】		第5期計画期間の実績			な計画期間の見	見込み
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
実利用件数 (実利用件数の【件/月】)	【件/年】	899 (75)	859 (72)	1,004	1,004	1,004	1,004

※令和2年度分は見込み

(ウ) 失語症者向け意思疎通支援者派遣事業

(新)

コミュニケーション及び移動等の支援を行う失語症者向け意思疎通支援者を派遣

区分【単位】	【畄位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
実利用件数	【人/年】				115	129	136	

※新規項目

ソ 広域的な支援事業

(ア) 精神障害者地域生活支援広域調整等事業

a 地域生活支援広域調整会議等事業

障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、精神障害者に対する地域生 活への移行に向けた支援、地域生活を継続するための支援及びアウトリーチ(多職種による訪問支援)等 の施策を推進

※P28の3(7)②アの地域包括ケアシステムにおける『保健、医療及び福祉関係者による協議の場』に移行

区分	【単位】	第5	第5期計画期間の実績			な計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
協議会の開催数	【回/年】	1	2	1			

※令和2年度分は見込み

b 地域移行·地域生活支援事業

精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して、充実した生活を送ることができるよ う、統合失調症を始めとする入院患者の減少及び地域生活への移行に向けた支援並びに地域生活を継続す るための支援を推進

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
ピアサポート従事者数	【人/年】	0	0	4	4	4	4	

※令和2年度分は見込み

(イ) 発達障害者支援地域協議会による体制整備事業

発達障害者の支援の体制の整備を図るため、発達障害者及びその家族、学識経験者その他の関係者並び に医療、保健、福祉、教育、労働等に関する業務を行う行政機関及び民間団体並びにこれに従事する者に しより構成

区分【単	【畄位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
協議会の開催数	【回/年】	2	1	2	2	2	2

タ その他の事業(任意事業)

(ア) 福祉ホーム

低額な料金での居室の利用と日常生活に必要な便宜の供与を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施箇所数	【か所】	2	2	2	2	2	2
利用者数	【人/月】	18	18	18	18	18	18

※令和2年度分は見込み

(イ) 訪問入浴サービス

入浴が困難な在宅の障害者の居宅を訪問し入浴サービスを提供

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
△	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施箇所数	【か所】	9	9	9	9	9	9
利用者数	【人/年】	3,988	4,184	4,328	4,477	4,631	4,791

※令和2年度分は見込み

(ウ) 更生訓練費給付事業

就労移行支援、自立訓練利用者等に対し、訓練を効果的に受けることができるよう訓練経費等を支給

区分【単位	【畄位】	第5	期計画期間の実績		新たな計画期間の見込み		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	【人/年】	764	812	875	942	1,015	1,093

※令和2年度分は見込み

(工) 就職支度金給付事業

施設等における訓練の後、就職等により自立することとなった障害者に支度金を支給

※平成30年度で事業廃止、令和2年度までは経過措置

V 4	【単位】	第5	期計画期間の	実績	新たな計画期間の見込み		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	【人/年】	106	91	93			

※令和2年度分は見込み

(才) 生活支援事業(中途失明者歩行訓練、知的障害者生活自立訓練)

自立した生活に必要な訓練・指導等を実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み
	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施箇所数	【か所】	2	2	2	2	2	2
利用者数	【人/年】	27	36	36	36	36	36

※令和2年度分は見込み

(力) 生活支援事業(視覚障害者向け情報提供支援、ボランティア活動支援)

障害者団体等による社会復帰に関する活動に対する情報提供等、ボランティア活動への支援の実施

区分	【単位】	第5	期計画期間の	実績	新たな	ま計画期間の見	見込み
	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施箇所数	【か所】	1	1	1	1	1	1

(丰) 日中一時支援事業 ※

障害者等の日中における活動の場の確保(介護者の一時的な休息等)

(日中一時支援事業) ⇒指定短期入所事業所等で、障害者と障害児の一時預かりを実施

区分	【単位】	第5	期計画期間の	実績	新たな計画期間の見込み		
区 刀	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施箇所数	【か所】	21	25	22	22	22	22
利用者数	【人/月】	159	144	150	187	199	211

※令和2年度分は見込み

(特別支援学校放課後等対策事業・障害児いきいき活動事業)

⇒特別支援学校において、放課後・長期休暇中等に学校内での預かりを実施

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	な計画期間の見	見込み 令和5年度 4	
△	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
実施箇所数	【か所】	4	4	4	4	4	4	
利用者数	【人/日】	22	21	24	24	24	24	

※令和2年度分は見込み

(ク) スポーツ・レクリエーション教室開催等事業

区分	【単位】	第5	期計画期間の	実績	新たな計画期間の見込み			
△	【半四】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
実施箇所数	【か所】	16	16	16	16	16	16	
利用者数	【人/年】	2,042	1,811	1,978	1,978	1,978	1,978	

※令和2年度分は見込み

(ケ) 芸術・文化講座開催等事業

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	ま計画期間の見込み		
	L 半位】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
実施箇所数	【か所】	11	11	11	11	11	11	
利用者数	【人/年】	4,565	3,565	4,324	4,324	4,324	4,324	

※令和2年度分は見込み

(コ) 点字・声の広報等発行事業

区分	【単位】	第5期計画期間の実績			新たな	ま計画期間の見込み		
	【半世】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
実施箇所数	【か所】	2	2	2	2	2	2	
利用者数	【人/年】	482	466	483	483	483	483	

※令和2年度分は見込み

(サ) 自動車運転免許取得費助成事業

区分	【畄位】	第5期計画期間の実績			新たな計画期間の見込み			
区分 【単位】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
助成件数	【件/年】	39	36	38	38	38	38	

※令和2年度分は見込み

(シ) 自動車改造費助成事業

区分	【単位】	第5	期計画期間の	実績	新たな	な計画期間の見	見込み
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
助成件数	【件/年】	44	35	41	41	41	41